

## 付加体先端部のスラスト活動に伴う海底地すべり発達過程

### Development of slope failures at the frontal thrust of an accretionary prism

# 山田 泰広 [1]; 山本 由弦 [2]; 山下 佳彦 [3]

# Yasuhiro Yamada[1]; Yuzuru Yamamoto[2]; Yoshihiko Yamashita[3]

[1] 京大・工・社会基盤; [2] 京都大学; [3] 京大・工・地質

[1] Civ. Earth Res. Eng., Kyoto Univ.; [2] Kyoto University; [3] Engineering Geology, kyoto Univ

<http://earth.kumst.kyoto-u.ac.jp/yamada/index.html>

付加体先端部に観察される斜面崩壊をモデル実験で再現し、その結果を詳細に解析することで崩壊の発生・発達メカニズムを構築した。スラスト上盤に形成される背斜構造は海溝側に急傾斜し、スラスト活動に伴って傾斜角が増加することで斜面崩壊が発生する。今回の検討で斜面崩壊には2種類が存在し、小崩壊から大崩壊へ進展することも観察された。